

水稻生育調査結果【令和2年8月7日調査】

中能登農林総合事務所

品種	ID	調査場所	草丈 (cm)				㎡当たり茎数 (本/㎡)				株当たり茎数 (本/株)				葉齢 (枚)				葉色			出穂期						
			本年		前年		本年		前年		本年		前年		本年		前年		本年	前年	本年							
			平均	前年比	平均	前年比	平均	前年比	平均	前年比	平均	前年比	平均	前年比	平均	前年比	平均	前年比	平均	前年	本年	前年						
ひやくまん穀	9	羽咋市千路町	103.3	105.8	98%	110.2	94%	328	317	103%	318	103%	18.8	18.2	103%	17.2	109%	13.9	13.9	100%	13.8	100%	4.0	3.5	114%	8月9日	8月6日	8月7日
ひやくまん穀	9	七尾市中島町笠師	93.4	93.4	100%	95.5	98%	347	367	94%	383	91%	18.8	19.9	94%	20.3	92%	14.5	13.4	109%	13.5	107%	4.4	4.3	103%	8月11日	8月8日	8月11日
ひやくまん穀	平均	平均	98.3	99.6	99%	102.8	96%	337	342	99%	350	96%	18.8	19.0	99%	18.7	100%	14.2	13.6	104%	13.7	104%	4.2	3.9	108%	8月10日	8月7日	8月9日

生育概況

- ひやくまん穀の草丈は前年並。㎡当たり茎数は前年並。
- ひやくまん穀の出穂期は、8月10日頃で前年より3日、平年より1日遅い。
- 一部の地域や圃場で、コブノメイガやイナゴの食害、紋枯病、葉いもちの病斑等が散見される。

今後の管理

【水管理】

- 出穂期以降は新根の発生がほとんどなくなることから、**根の機能を収穫間際まで維持させるため、長期間の湛水管理や極度な土壌乾燥はさせないこと。**
梅雨明け(8/2)以降、気温が高い日が続いており、今後さらに高温が続く場合は、通水不足とならないよう留意する。可能であれば夜間通水し稲体を冷やすとともに登熟を向上させること。
 なお、台風等の接近に伴い、強風やフェーンが予想される場合は、あらかじめ水田に入水し、通過後はすみやかに落水を行うこと。
 (ため池利用地域では、地域ぐるみで、計画的な水利用に努める)

(参考) 梅雨明け以降の気象 (8/2~8/6)

平均気温	本年	平年	(平年差)	降水量
羽 咋	27.2℃	26.6℃	(+0.6℃)	0mm
志 賀	26.3	26.2	(+0.1)	2.5mm
七 尾	27.2	26.4	(+0.8)	0mm

【病害虫対策】

- 斑点米カメムシ類の本田侵入量調査結果 (7月23日調査) は、JAはくい管内で13.5頭/筆、捕獲地点率95%、JA志賀管内で3.9頭/筆、捕獲地点率88%、JA能登わかば管内で18.0頭/筆、捕獲地点率100%となっている。**1筆当たり捕獲頭数は平均11.3頭で、平年(H22~R1: 4.1頭)の2.8倍と本田侵入量は多くなっている。**
- 特に、**クモヘリカメムシの1筆当たり捕獲頭数は平均8.3頭で、捕獲頭数が多かった昨年(平均: 3.1頭)よりも2.6倍と非常に本田侵入量は多くなっている。**
 クモヘリカメムシは、登熟中期まで加害するため、**出穂7~10日後と14~17日後の2回防除を徹底する。**
- 雑草の除草は、斑点米カメムシの本田侵入を助長するので、やむを得ず除草する際は基幹防除の直前に行う。
- 葉いもちの発生が散見されており、今後穂いもち多発するおそれがある。** ついては、こまめにほ場を巡回し、**葉いもちの早期発見に努める。**
 発生を認めたら、周辺のは場や地域への拡散状況を確認するとともに、晴れ間を見はからい、直ちに「ブラシン粉剤DL」を3~4kg/10a散布する。
 ざり込み症状を呈するほ場では、4~5日後に薬剤の再散布を行うこと。
 なお、葉いもち発生の有無に関わらず、基幹防除を徹底する。

【収穫時期】

- 梅雨明け以降、高温傾向で推移すると予想されており、高温登熟となった場合は胴割粒の発生が懸念されることから、気象情報を注視し、今後発行する営農情報に従い刈り取りを行う。

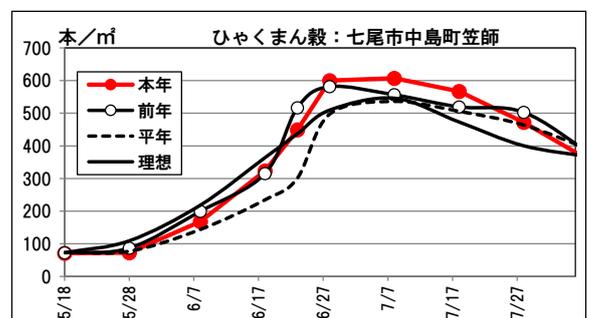
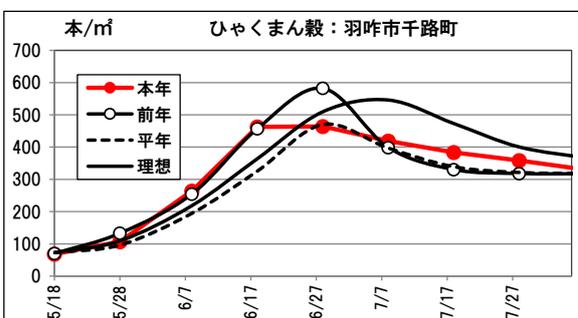
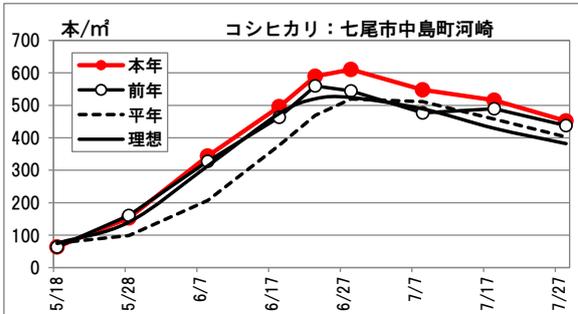
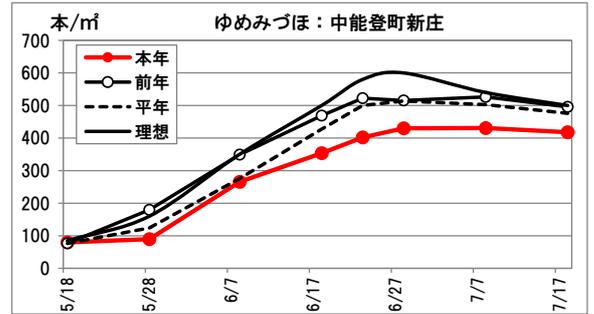
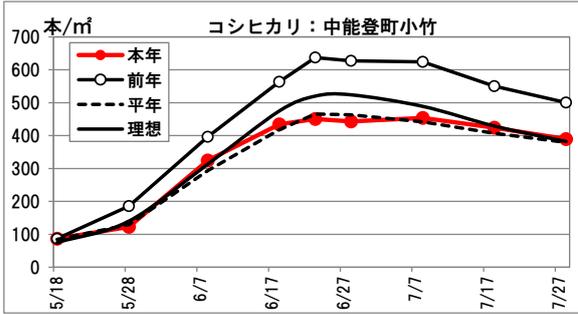
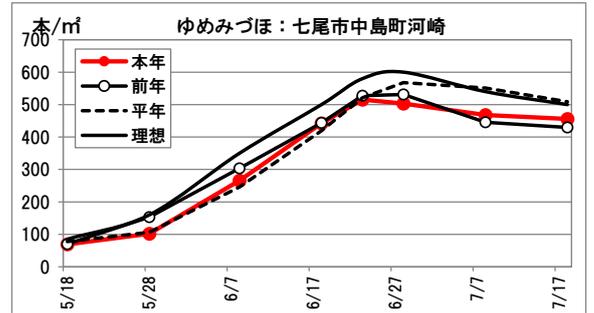
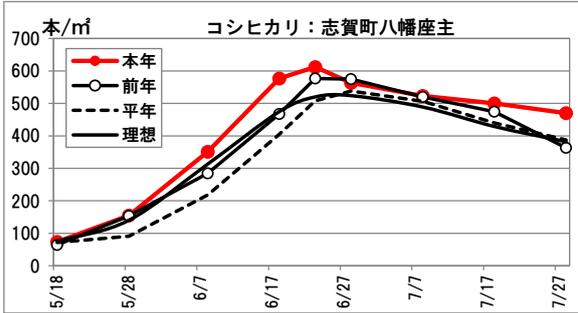
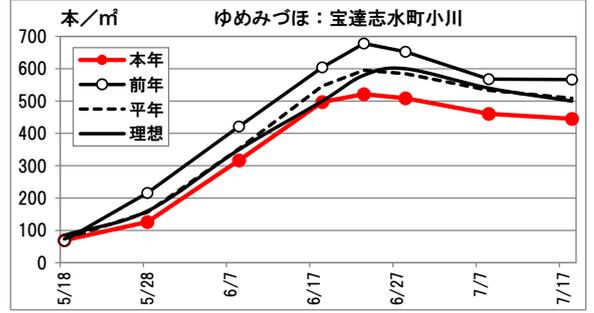
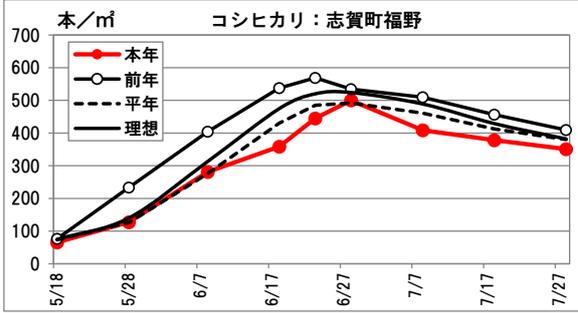
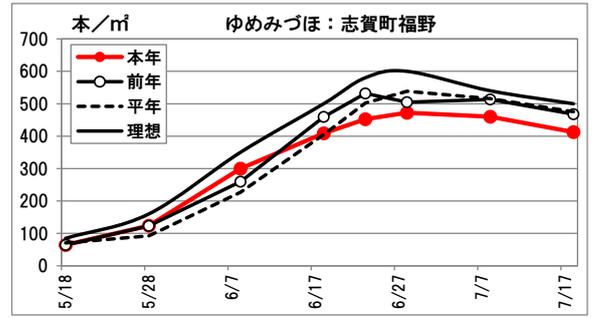
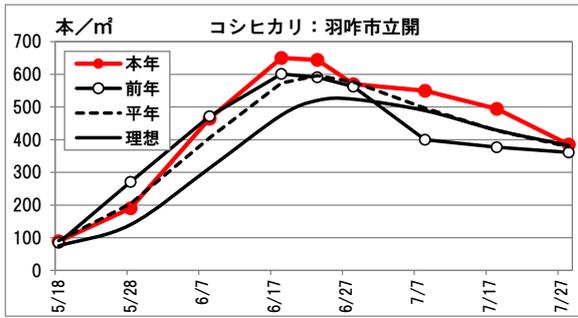
(参考) 高温登熟となった場合

表. 籾の黄化程度による刈り取り適期判断の目安

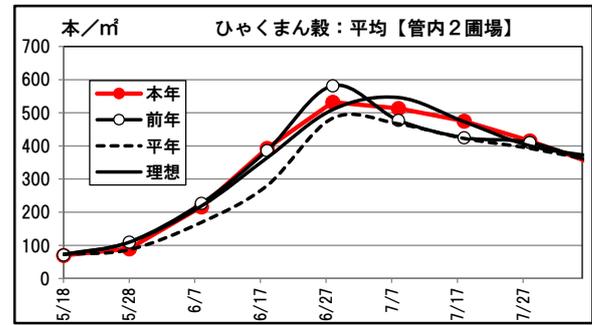
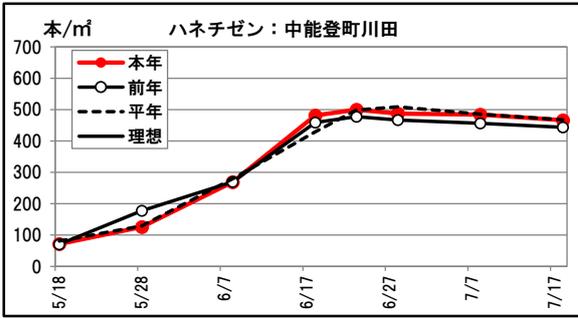
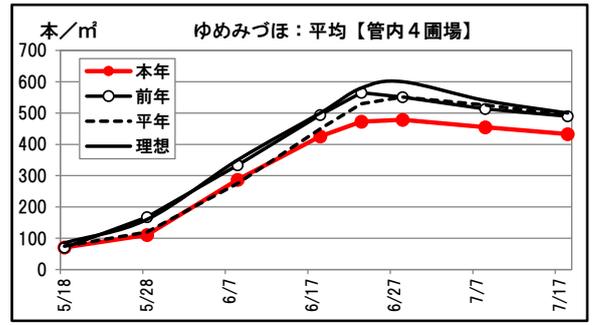
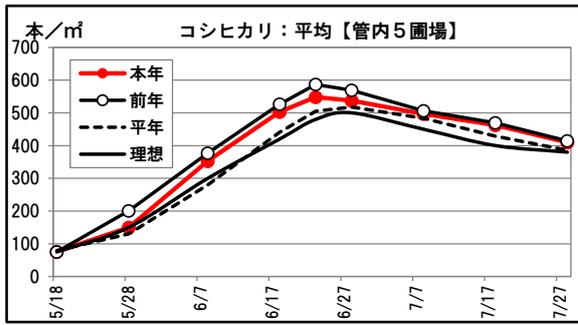
籾の黄化程度	30%	40%	50%	60%	70%	80%	85%
刈り取り適期 【高温年】	15~16日後	12~13日後	10日後	7~8日後	5日後	2~3日後	適期

注1) ただし、シイナ(不受精籾)は除く。 注2) 矢印(←→)は、刈り取り適期幅を示す

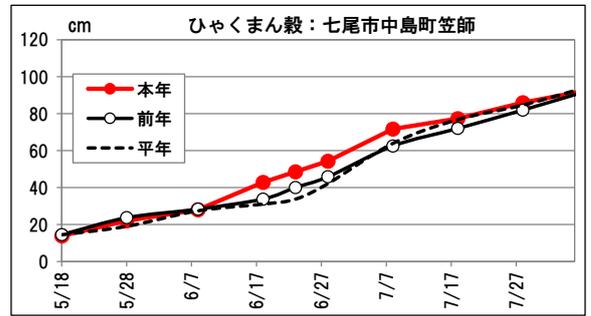
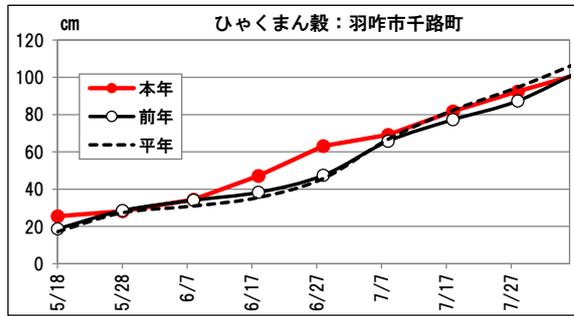
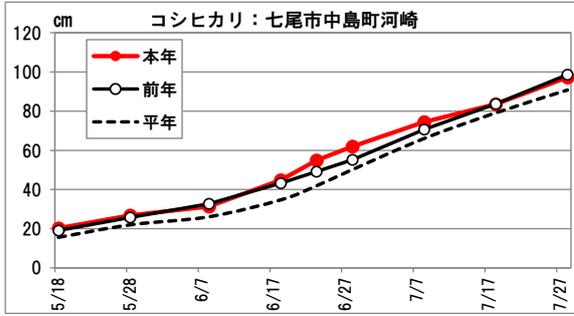
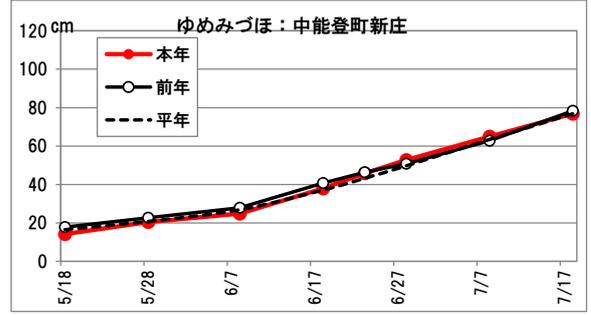
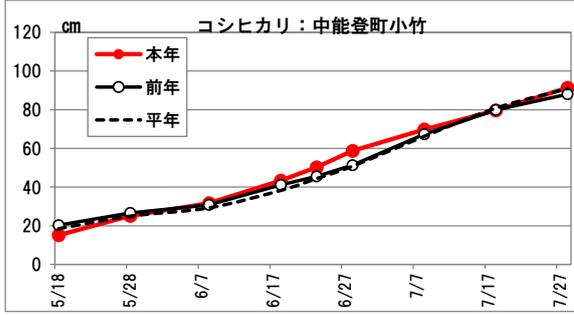
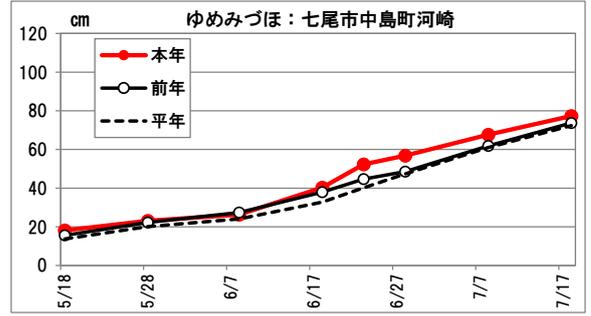
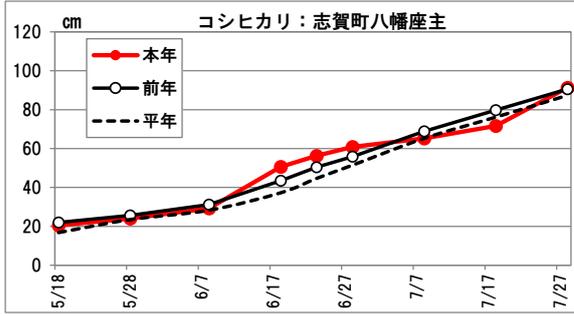
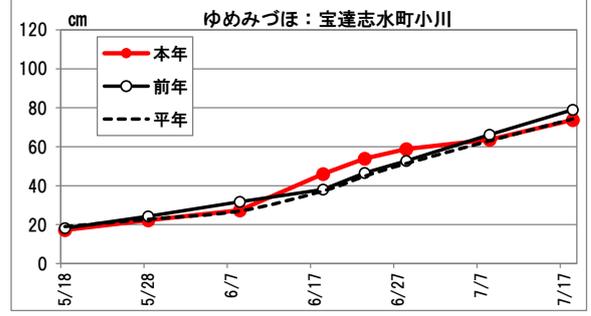
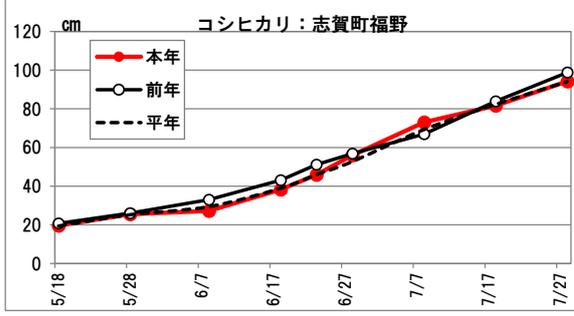
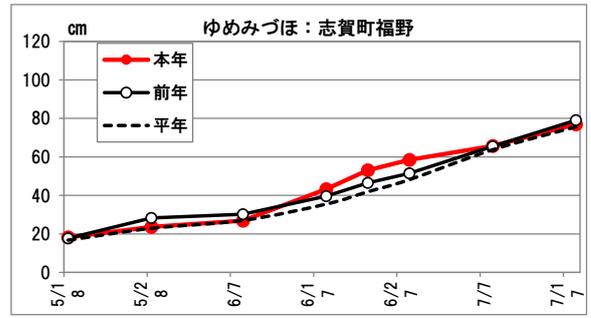
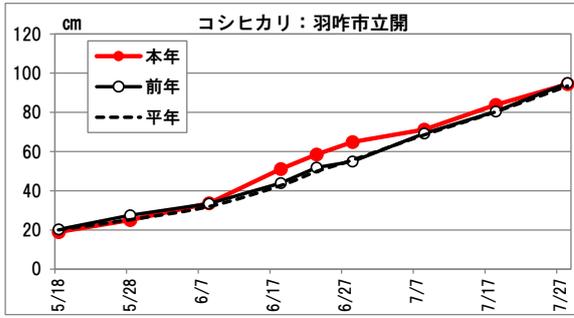
R02年度 水稻生育観測田 生育経過【茎数推移】グラフ



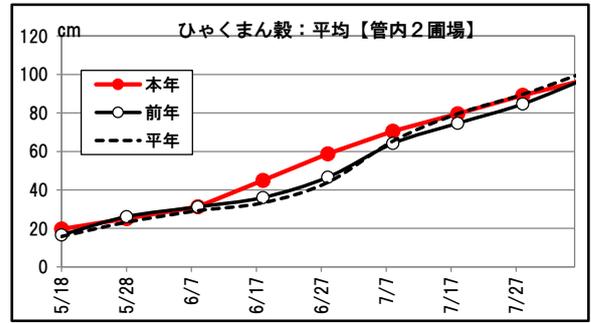
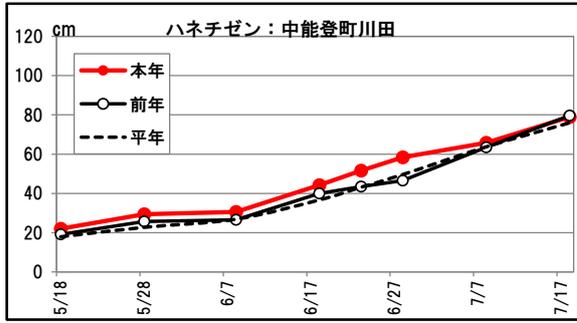
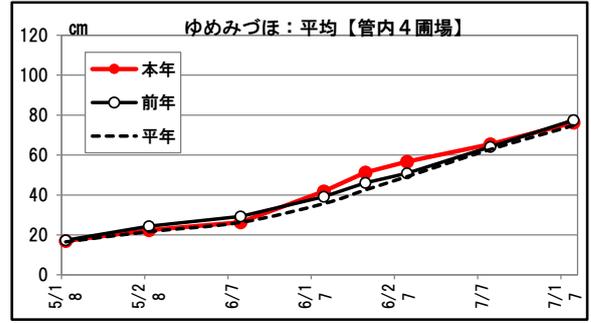
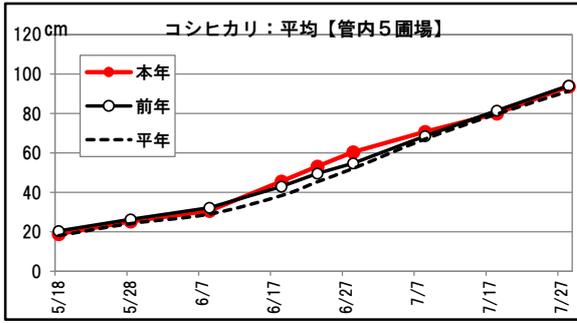
R02年度 水稲生育観測田 生育経過【茎数推移】グラフ



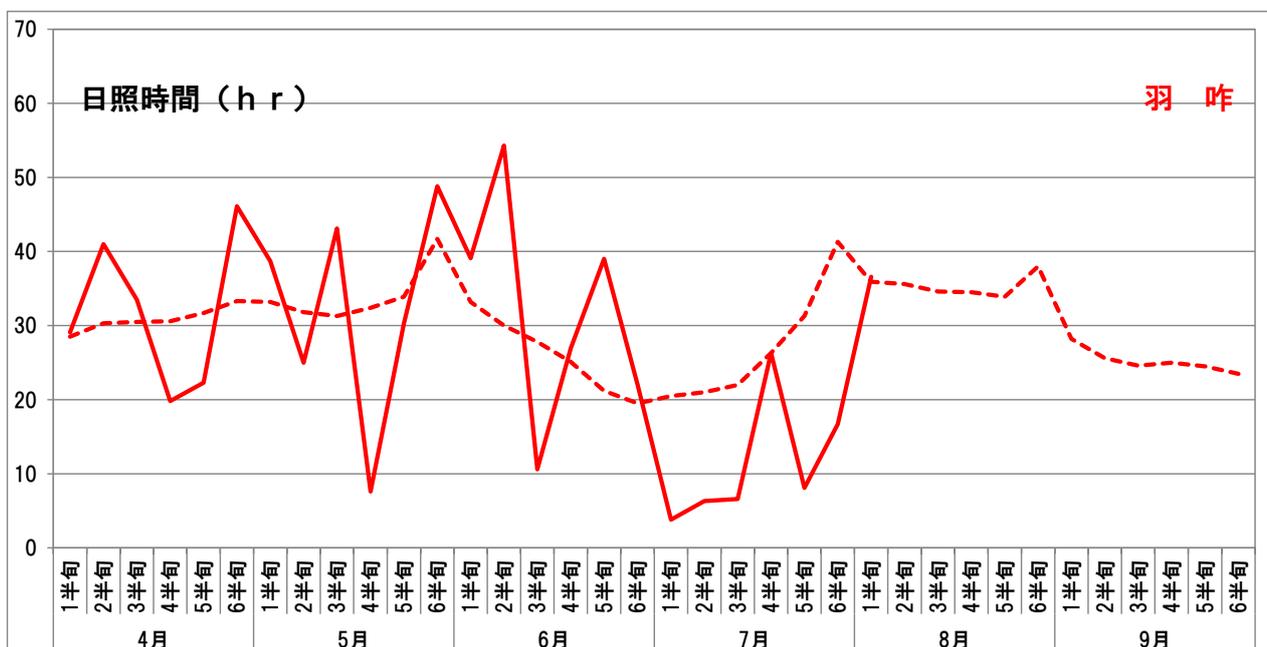
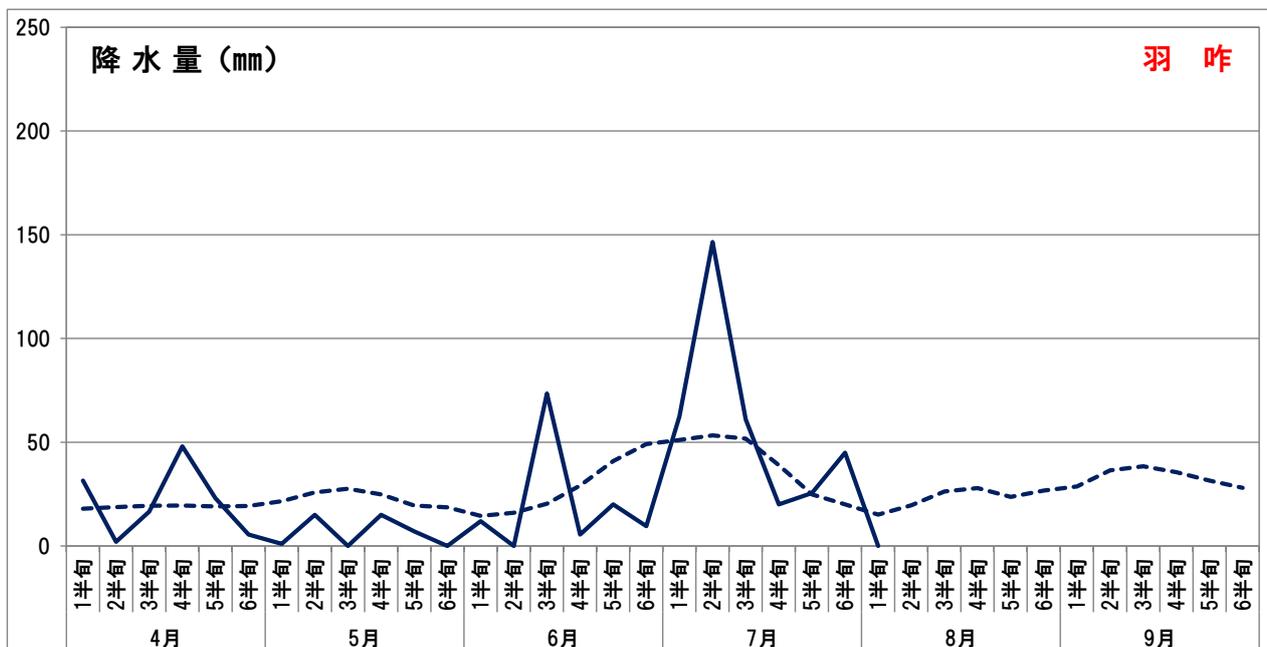
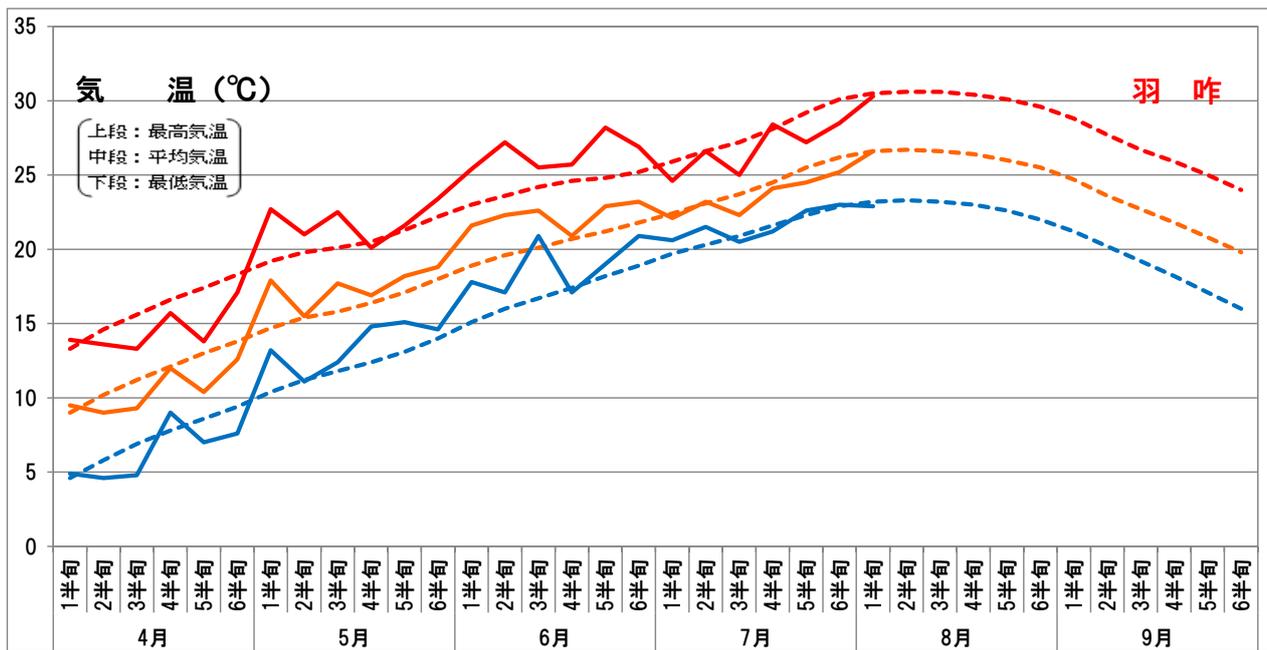
R02年度 水稲生育観測田 生育経過【草丈推移】グラフ



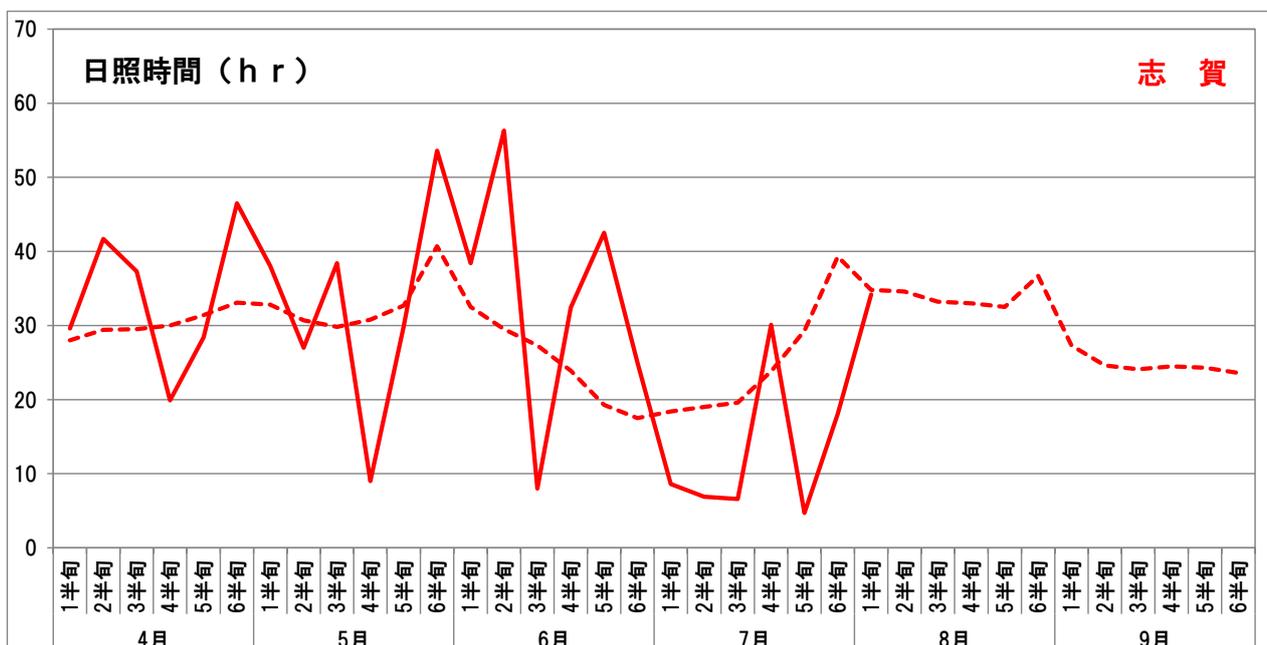
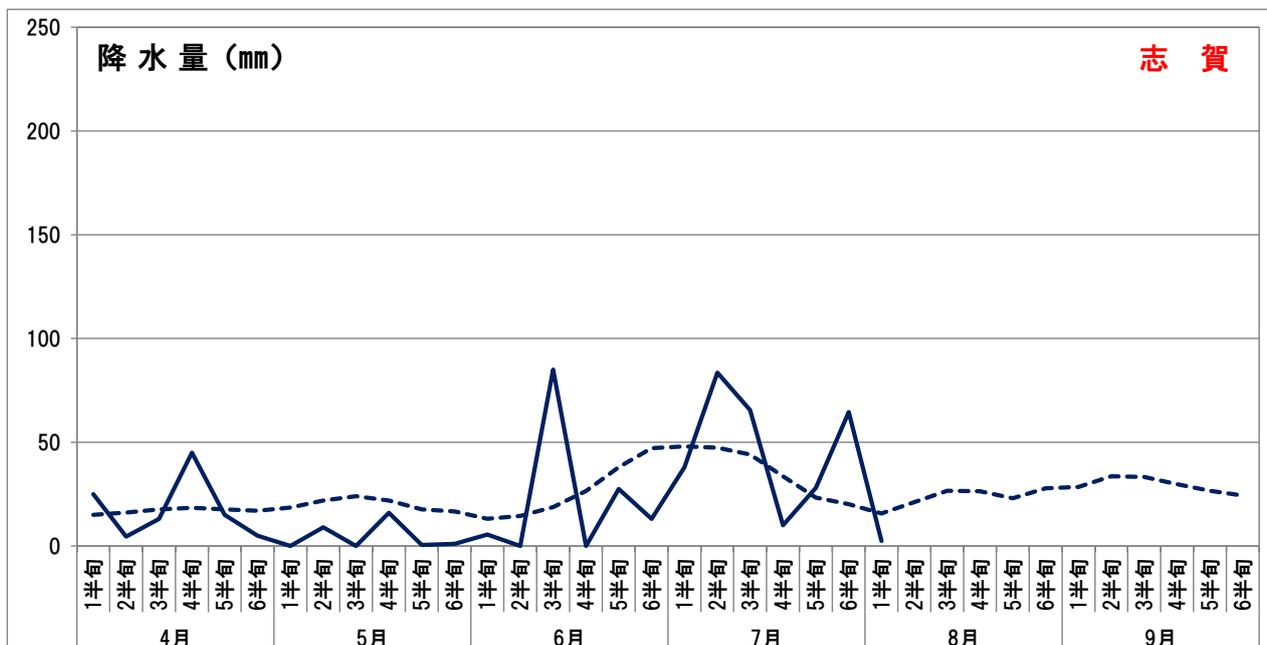
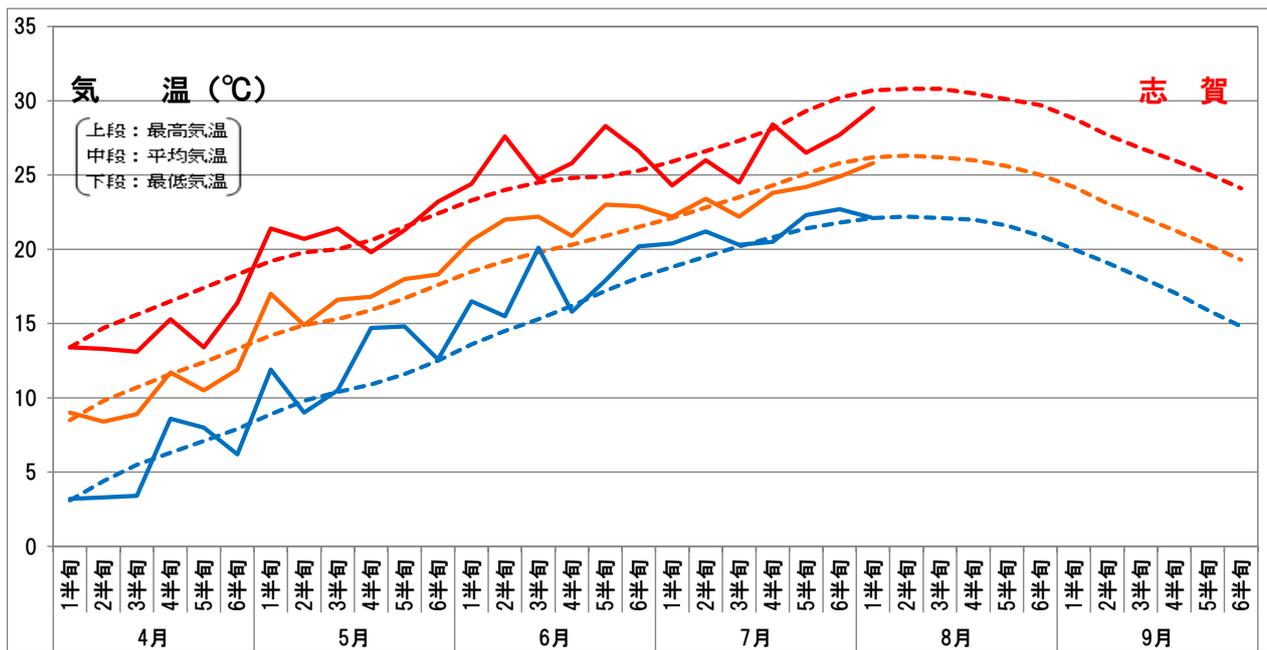
R02年度 水稲生育観測田 生育経過【草丈推移】グラフ



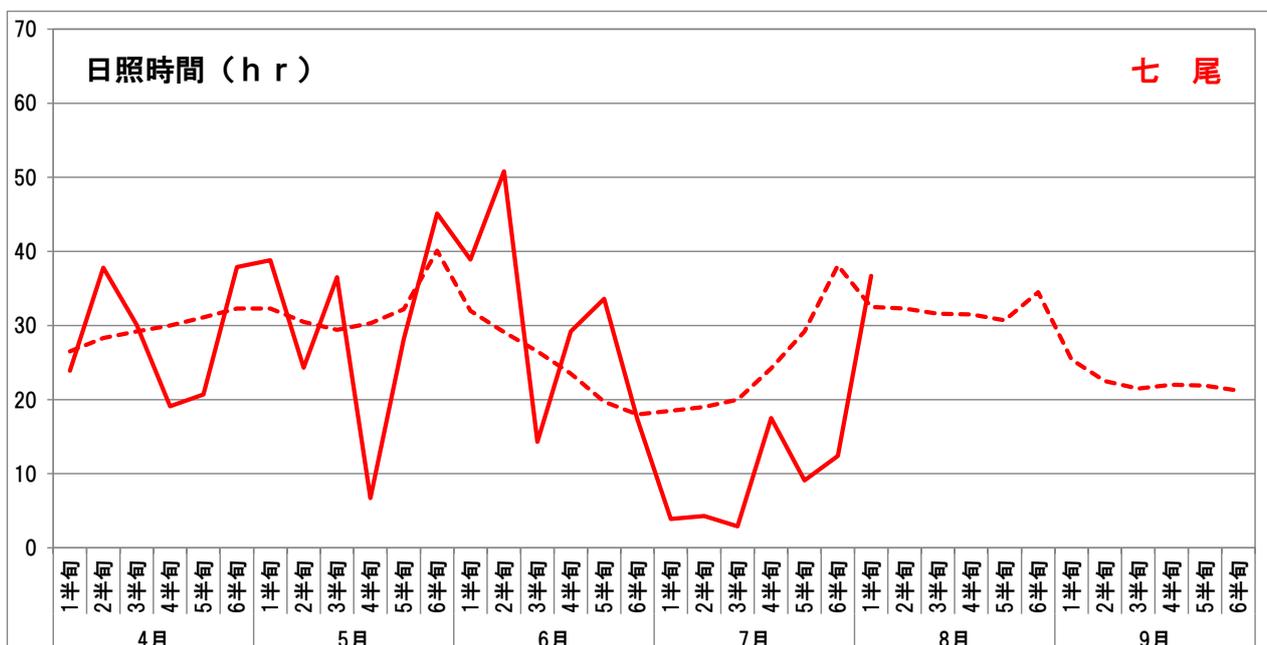
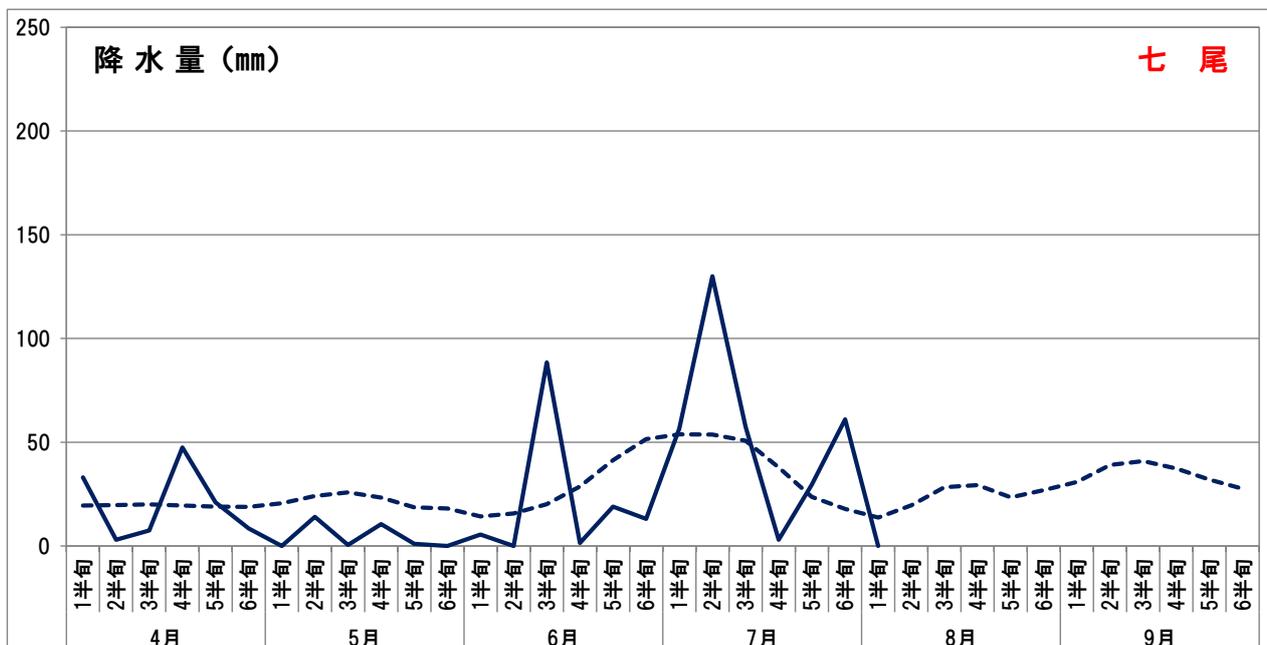
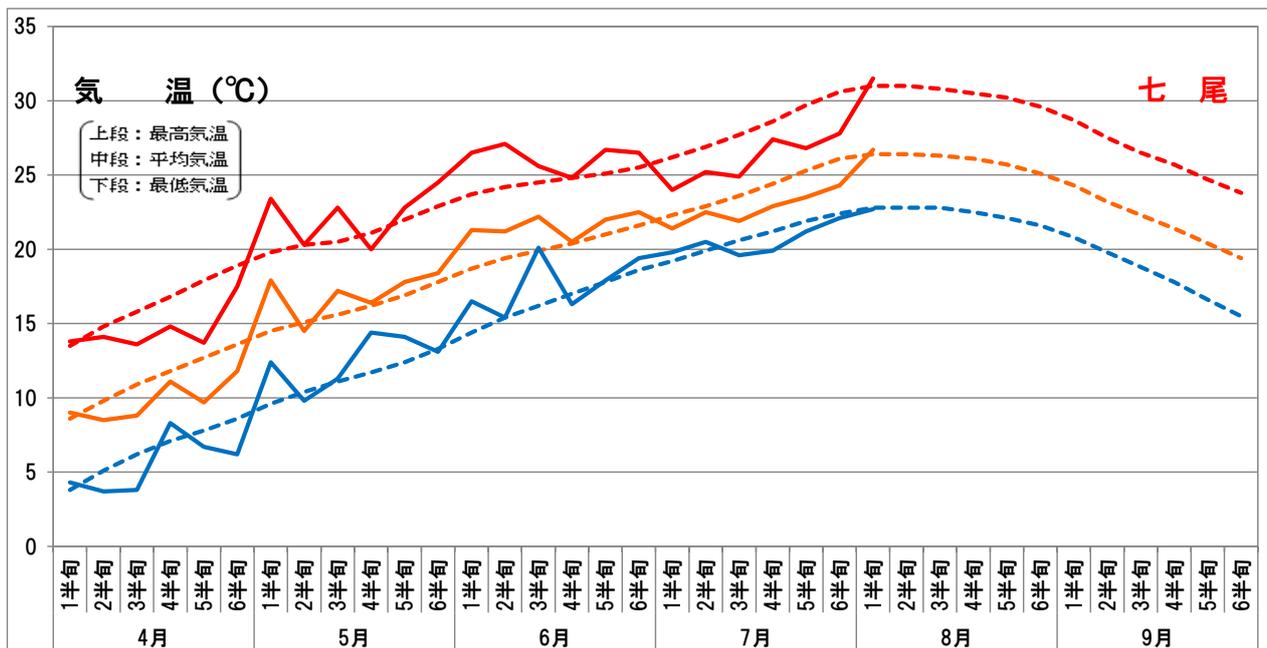
2020年 水稲生育期間中の気象状況 [半旬別グラフ 4月～9月 羽咋]



2020年 水稲生育期間中の気象状況 [半旬別グラフ 4月～9月 志賀]



2020年 水稲生育期間中の気象状況 [半旬別グラフ 4月～9月 七尾]



北陸地方 1か月予報

(8月8日から9月7日までの天候見通し)

令和2年8月6日
新潟地方気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

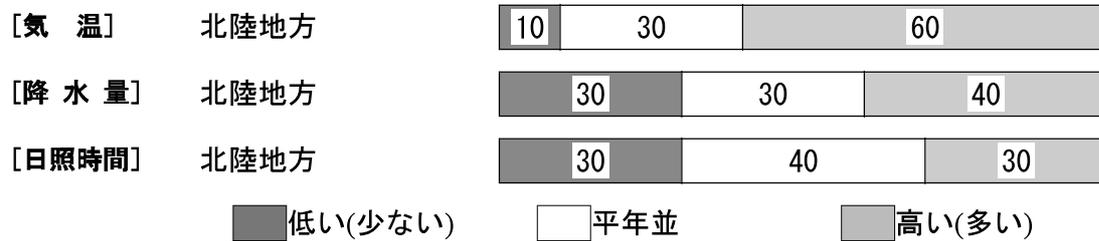
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

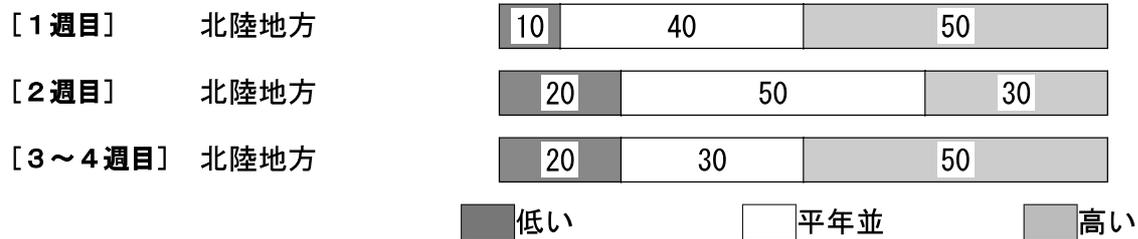
向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率50%です。2週目は、平年並の確率50%です。3～4週目は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 8月8日(土)～9月7日(月)
1週目 : 8月8日(土)～8月14日(金)
2週目 : 8月15日(土)～8月21日(金)
3～4週目 : 8月22日(土)～9月4日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報 : 毎週木曜日 14時30分 次回は8月13日
3か月予報 : 8月25日(火) 14時

<参考資料（平年並の範囲等）>

(1) 30年平均値（向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温）

	気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温(°C)		
				1週目	2週目	3～4週目
輪島	25.1	191.8	192.4	26.0	25.7	24.7
相川	25.5	133.6	206.2	26.3	26.0	25.2
新潟	25.9	146.3	205.7	26.7	26.4	25.5
金沢	26.4	161.6	205.6	27.3	27.0	26.1
伏木	26.0	174.8	191.7	26.8	26.5	25.6
富山	26.0	186.3	188.4	26.9	26.5	25.6
高田	25.7	168.6	183.1	26.7	26.3	25.3
福井	26.5	147.0	195.1	27.5	27.1	26.1
敦賀	26.9	138.3	190.0	27.7	27.5	26.5

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1981～2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
北陸地方	-0.4～+0.5	73～123	92～108

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
北陸地方	-0.4～+0.8	-0.5～+0.7	-0.4～+0.4

<参考資料（利用上の注意）>

(1) 気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。

北陸地方 3か月予報

(8月から10月までの天候見通し)

令和2年7月22日
新潟地方気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、高い確率50%です。

8月 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

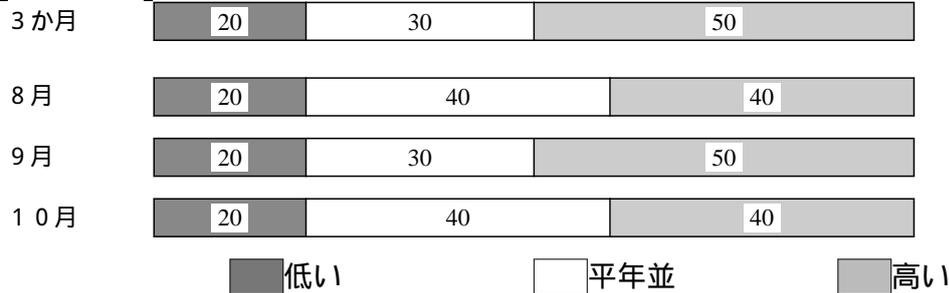
9月 天気は数日の周期で変わるでしょう。
気温は、高い確率50%です。

10月 天気は数日の周期で変わるでしょう。
気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

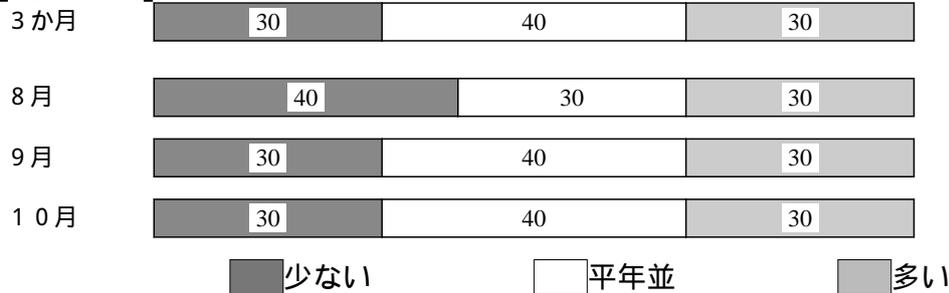
<<気温>>

[北陸地方]



<<降水量>>

[北陸地方]



<次回発表予定等>

1か月予報：毎週木曜日 14時30分 次回は7月23日

3か月予報：8月25日(火) 14時

なお、8月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

<参考資料（平年並の範囲等）>

(1) 平年値（月・3か月平均気温、降水量、日照時間）

	気 温()				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	8月	9月	10月	8月~10月	8月	9月	10月	8月~10月	8月	9月	10月	8月~10月
輪島	25.7	21.6	15.9	21.1	155.8	213.5	156.4	525.7	206.8	138.2	142.0	487.0
相川	26.0	22.1	16.9	21.7	125.4	142.2	125.2	392.7	215.7	152.4	152.4	520.5
新潟	26.4	22.5	16.3	21.7	140.6	155.1	160.3	456.0	211.1	162.8	140.1	513.9
金沢	27.0	22.7	17.1	22.3	139.2	225.5	177.4	542.1	221.5	144.1	150.4	516.0
伏木	26.5	22.4	16.6	21.9	155.8	210.9	153.0	519.7	205.1	137.7	145.1	487.9
富山	26.6	22.3	16.4	21.8	168.3	220.2	160.7	549.2	201.3	133.1	142.7	480.9
高田	26.3	22.0	16.0	21.4	150.4	206.2	210.8	567.3	195.0	129.4	134.5	458.9
福井	27.2	22.7	16.6	22.2	127.6	202.3	144.9	474.8	206.8	142.0	151.8	500.7
敦賀	27.4	23.4	17.6	22.8	125.5	188.2	135.2	448.9	201.6	139.5	145.8	486.9

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

(2) 1981~2010年のデータに基づいた8月~10月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	8月	9月	10月	8月~10月
気温平年差()	北陸地方	-0.5~+0.5	-0.4~+0.3	-0.3~+0.4	-0.4~+0.4
降水量平年比(%)	北陸地方	76~122	68~121	86~109	90~107
日照時間平年比(%)	北陸地方	92~109	94~107	94~106	96~104

(3) 接近する台風の平年値

	8月	9月	10月
北陸地方	0.9	0.8	0.2

<参考資料（利用上の注意）>

- (1) 気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981~2010年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- (2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられませんが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。
- (3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。